

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書の訂正報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第4項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 2021年5月18日

【四半期会計期間】 第19期第3四半期（自 2020年7月1日 至 2020年9月30日）

【会社名】 株式会社メドレックス

【英訳名】 Medrx Co., Ltd.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 松村 米浩

【本店の所在の場所】 香川県東かがわ市西山431番地7

【電話番号】 0879 - 23 - 3071

【事務連絡者氏名】 取締役経営管理部長 藤岡 健

【最寄りの連絡場所】 東京都中央区日本橋浜町二丁目35番7号

【電話番号】 03 - 3664-9665

【事務連絡者氏名】 取締役経営管理部長 藤岡 健

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

1 【四半期報告書の訂正報告書の提出理由】

2020年11月13日に提出いたしました第19期第3四半期（自 2020年7月1日 至 2020年9月30日）四半期報告書の記載事項の一部に誤りがありましたので、これを訂正するため四半期報告書の訂正報告書を提出するものであります。

2 【訂正事項】

第一部 企業情報

第3 提出会社の状況

1 株式等の状況

(4)発行済株式総数、資本金等の推移

3 【訂正箇所】

訂正箇所は_____を示して表示しております。

第一部【企業情報】

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(4)【発行済株式総数、資本金等の推移】

(訂正前)

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
2020年8月13日 (注)1	676,000	16,540,100	100,048	7,034,062	100,048	6,603,262
2020年7月1日～ 2020年9月30日 (注)2	735,000	17,275,100	103,962	7,138,025	103,962	6,707,225

(注)1. 有償第三者割当発行価格 296円

資本組入額 148円

割当先 Japan International Partners LLC

2. 行使価額修正条項付第17回新株予約権(行使指定条項付)の権利行使による増加であります。

3. 2020年10月1日から10月31日の間に、行使価額修正条項付第17回新株予約権(行使指定条項付)の権利行使により、発行済株式総数が640,000株、資本金及び資本準備金がそれぞれ82,095千円増加しております。

(訂正後)

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
2020年8月13日 (注)1	676,000	16,540,100	100,048	7,034,062	100,048	6,603,262
2020年7月1日～ 2020年9月30日 (注)2	735,000	17,275,100	103,962	7,138,025	103,962	6,707,225

(注)1. 有償第三者割当

発行価格 296円

資本組入額 148円

割当先 Japan International Partners LLC

2. 行使価額修正条項付第17回新株予約権(行使指定条項付)の権利行使による増加であります。

3. 2020年10月1日から10月31日の間に、行使価額修正条項付第17回新株予約権(行使指定条項付)の権利行使により、発行済株式総数が640,000株、資本金及び資本準備金がそれぞれ82,095千円増加しております。

4. 2019年11月15日に提出いたしました有価証券届出書（2019年11月20日に提出いたしました訂正届出書により訂正済）に記載した第15回新株予約権（行使価格修正条項付）の発行により調達した資金の使途について、以下の重要な変更が生じております。

手取金の使途の変更

(1) 変更の理由、経緯

当社は、2019年11月20日に公表いたしました「第三者割当による第15回新株予約権（行使価額修正条項付）の発行条件等の決定に関するお知らせ」に記載しておりますように、MRX-9FLT：中枢性鎮痛貼付剤（フェンタニルテープ剤）の非臨床試験及びその付帯費用、MRX-9FLT：中枢性鎮痛貼付剤（フェンタニルテープ剤）の臨床試験及びその付帯費用、並びにMRX-5LBT：帯状疱疹後の神経疼痛治療薬（リドカインテープ剤）の欧州における開発費用のための資金の確保を目的として、第15回新株予約権（行使価額修正条項付）を発行して資金調達を行いました。

しかし、東京証券取引所における当社普通株式の普通取引の終値が当初行使価額（301円）を下回って推移したため、実際の資金調達額が当初の調達予定額938百万円を202百万円下回る736百万円（差引手取額）となりました。また、MRX-9FLT：中枢性鎮痛貼付剤（フェンタニルテープ剤）の臨床試験及びその付帯費用の見積額が増加しました。

この結果、MRX-5LBT：帯状疱疹後の神経疼痛治療薬（リドカインテープ剤）の欧州における開発費用には充当せずに、MRX-9FLT：中枢性鎮痛貼付剤（フェンタニルテープ剤）の非臨床試験及びその付帯費用に予定通り40百万を充当した残りの資金696百万円については、見積額が増加したMRX-9FLT：中枢性鎮痛貼付剤（フェンタニルテープ剤）の臨床試験及びその付帯費用に全額を充当し、MRX-5LBT：帯状疱疹後の神経疼痛治療薬（リドカインテープ剤）の欧州における開発費用については充当することを取りやめることといたしました。

(2) 変更の内容

(変更前)

具体的な使途	金額 (百万円)	支出予定時期
MRX-9FLT：中枢性鎮痛貼付剤（フェンタニルテープ剤）の非臨床試験及びその付帯費用	40	2019年12月～ 2020年2月
MRX-9FLT：中枢性鎮痛貼付剤（フェンタニルテープ剤）の臨床試験及びその付帯費用	625	2020年1月～ 2021年8月
MRX-5LBT：帯状疱疹後の神経疼痛治療薬（リドカインテープ剤）の欧州における開発費用	273	2019年12月～ 2020年12月
合計	938	

(変更後)

具体的な使途	金額 (百万円)	支出予定時期
MRX-9FLT：中枢性鎮痛貼付剤（フェンタニルテープ剤）の非		2019年12月～

臨床試験及びその付帯費用	40	2020年2月
MRX-9FLT：中枢性鎮痛貼付剤（フェンタニルテープ剤）の臨床試験及びその付帯費用	696	2020年1月～ 2021年8月
MRX-5LBT：帯状疱疹後の神経疼痛治療薬（リドカインテープ剤）の欧州における開発費用	—	2019年12月～ 2020年12月
合計	736	